

平成27年第5回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成27年5月29日（金） 午後3時00分～午後4時45分

○場 所 三浦市教育委員会 教育委員室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

三壁伸雄教育長、曾根崇子委員

4 教育長報告

(1)5月の行事について

(2)平成27年第2回三浦市議会定例会について

(3)全国都市教育長会議への参加報告

5 報告事項

(1)平成27年4月の後援名義等使用について

(2)東京大学臨海実験所職員の研修受入について

(3)青少年会館の耐震診断結果について

(4)元三浦市立宮川児童会館を無償譲渡することについて

(5)子どもの船事業及び姉妹都市交流事業の参加者募集について

6 審議事項

(1)議案第16号 平成27年度三浦市一般会計補正予算（第1号）に関する申出について

(2)議案第17号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて

7 その他の事業について

(1)第17回わんぱく相撲三浦場所の開催結果について

(2)平成26年度 三浦市社会教育講座について（南下浦市民センター）

(3)平成27年度 三浦市社会教育講座「文学講座 文学に表現された三浦」の開催について

(4)平成26年度 三浦市社会教育講座について（初声市民センター）

(5)平成27年度 三浦市社会教育講座「工芸講座～オリジナル斜めがけエコバッグ作り～」の開催について

8 その他

9 閉 会

○出席委員（5名）

委員 長	寺 本 光 一
委員長職務代理	菊 池 惠
委員	曾 根 崇 子
委員	松 尾 恒 廣
教 育 長	三 壁 伸 雄

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	田 中 勉
学 校 教 育 課 長	五 十 嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
文 化 ス ポ ー ツ 課 長	下 田 学	南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	小 川 史 郎
初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	見 上 正 行	青 少 年 教 育 課 長 兼 図 書 館 長	安 藤 宜 尚

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
教育総務課主事	近 藤 民 子

○傍 聴（0名）

○寺本委員長　それでは、ただいまより平成27年第5回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関するみなさまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については委員長一任とすることについてご承認いただきたいと思っております。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○寺本委員長　なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成27年第4回三浦市教育委員会定例会会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については委員長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○寺本委員長　ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に曾根委員と三壁教育長を指名します。

それでは、次第4「教育長報告」をお願いします。

○三壁教育長　私からは、3点ほどご報告をさせていただきます。

5月も、外郭団体の諸行事や、文化スポーツ課に関連するスポーツ行事、小中学校の諸行事等が行われましたが、特に、小中学校の諸行事について報告いたします。

まず、三崎小学校を除く7小学校の運動会が5月23日(土)に行われ、大きなケガもなく終了したとの報告を受けています。また、中学校については、三崎中学校、南下浦中学校が5月19日～21日、初声中学校が5月26日～28日に修学旅行に行き、無事に終了しています。

ただし、中学2年生の芦ノ湖でのキャンプについては、箱根大涌谷の噴火等の状況を考慮し、3中学校とも日程と場所の変更をしています。三崎中学校が山中湖、南下浦中学校が西湖へ6月23日、24日に行くことになり、初声中学校が足柄ふれあいの村へ6月30日、7月1日に行くことでそれぞれ変更しています。昨今の事情を考え、学校としても苦慮したうえで、安全を優先するということになりました。

また、5月10日に、三浦ライオンズクラブの50周年記念式典がありましたが、三崎中学校の新体育館へ120万円の緞帳を寄贈していただけるということで、目録をいただいて参りました。新体育館は11月に完成予定のため、それまでに緞帳の取付け等も行っていますが、ライオンズクラブには学校からお礼を申し上げたところです。竣工式についてはまたご案内いたします。

次に、6月の議会についてです。新しい議員の顔ぶれも出てくる中で、今日は施設見学があり、ちょうどこの時間に潮風アリーナの見学をしているところです。定例会は6月12日から24日までとなり、一般質問が出てくるのではないかと考えていますし、総務経済常任委員会では、補正を何件か出している関係での話もあるのではと考えています。

最後になりますが、5月20日～22日に、全国都市教育長会議の総会等があり、行って参りました。全国801市から、540人が厚木へ来られました。来年は徳島での開催とのこと。予算のこともあり、県外へ行くというのは難しいですが、厚木ということで3日間とも出席しました。他市の教育長の研究発表等も行われ、大変良い全国大会であったと思います。

私からは、以上です。

○寺本委員長 報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

(発言等なし)

○寺本委員長 なければ、教育長報告を終了いたします。

○寺本委員長 それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)平成27年4月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○田中教育総務課長 平成27年4月の後援名義等使用についてご報告します。

平成27年4月分につきましては、学校教育課関係で4件、文化スポーツ課関係で13件、合計17件の申請があり、いずれも承認をしているものです。それぞれの内容等で、ご質問があれば担当課よりご説明しますのでよろしくをお願いします。

報告は、以上です。

○寺本委員長 報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

(発言等なし)

○寺本委員長 次に、(2)東京大学臨海実験所職員の研修受入について、報告をお願いします。

○五十嵐学校教育課長 東京大学臨海実験所職員の研修受入についてご報告します。

これについては、東京大学臨海実験所が日本財団の予算を受けて、三浦市教育委員会学校教育課に職員を1名、研修という形で常駐させるというものです。海洋教育のより円滑な推進と、東京大学臨海実験所との円滑な連携を目的として、5月1日から1年間の契約で配置されています。なお、配置する職員は、佐藤 悠という者で、昨年度まで学校教育課の教育研究所に非常勤職員として配置していました。海洋教育がより円滑に推進されていくよう、人材を活用しながら進めていきたいと考えています。

報告は、以上です。

- 寺本委員長 報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。
- 三壁教育長 執務場所と、1週間の勤務日数を教えてください。
- 五十嵐学校教育課長 執務場所は基本的に学校教育課です。日数は1週間のうち全日となっており、毎日学校教育課に出勤し、学校教育課の職員と同時刻に退勤という形を取っています。ただし、東京大学の職員のため、東京大学の用務での出張が年間を通じて多く入っています。また、週に一度、東京大学臨海実験所で海洋教育の打合せがあり、参加することになっています。
- 寺本委員長 期間は3月31日までですか。
- 五十嵐学校教育課長 はい。
- 菊池委員長職務代理 研修の成果はどういう形でフィードバックされますか。
- 五十嵐学校教育課長 研修生として受入れていますが、実際にこの職員が研修するというよりは、日常的な業務を推進する役割があります。よって、海洋教育が推進された中身が、この職員が配置された成果ということになります。
- 松尾委員 元々は教員の方ですか。
- 五十嵐学校教育課長 教員ではございません。特にコンピュータ関係や情報処理に長けており、学校教育課としては、今後情報を発信していかななくてはならない所で、この職員の力が大いに活用されると期待しています。
- 寺本委員長 東大で研究等をされていたのですか。
- 五十嵐学校教育課長 そのようなことはございません。教育研究所でこれまで仕事をしてきて、教育委員会の中身についてよく熟知していることからお願いしました。東京大学の職員となるのは、今回が初めてです。
- 三壁教育長 予算の背景をお伝えしてください。
- 五十嵐学校教育課長 東京大学臨海実験所が海洋教育を推進するにあたっては、日本財団の予算を使っています。日本財団の予算を使うことで、東京大学臨海実験所の職員を海洋教育の専任として賄っています。今回は、その中の1名を教育委員会に常駐させるという形が、より連携をスムーズにするだろうということで、配置されたものです。
- 三壁教育長 海洋教育については4年目ですが、この3年間、教育委員会や学校が一生懸命

に取り組み、特に指導主事が中心となってきました。東京大学でもこの実績を理解いただき、今後は市内だけでなく外部にも発信していこうという考えがあります。三浦市でも11校が関わっていますが、これらを発信する場所があるといいと思いますし、先を見据えて職員が配置されたことにより、今後ますます発展していくと思っています。

○寺本委員長　　今までの海洋教育の成果の分析や、今後の海洋教育のスケジュールや中身について、その職員が専任で行うということでもいいですか。

○五十嵐学校教育課長　　基本的には、これまで同様主体となるのは学校教育課の指導主事です。これをサポートするような位置付けとなります。

○松尾委員　　現在、学校では海洋教育に対して、全校で取り組みを深めています。一方では、学校研究を行っています。そうすると、主力は学校研究にあり、海洋教育は片手間という現状が実態としてあるような気がします。三浦市として、郷土三浦の「みうら学」というような形で海洋教育を推進していくためには、学校全体が海洋教育を行うというスタンスを進めていった方が、研究の成果がより深まるように思います。例えば、三浦市の小中学校で、海洋教育を主体とした研究に取り組むという形を推進していこうという動きはありますか。

○五十嵐学校教育課長　　これまで、みうら学という形での研究会を進めてきているところですが、必ずしも全ての学校の校内研究のメインになっている訳ではありません。ただ、それぞれの地域の教育素材を活かした教育活動は根付いてきていると感じています。今後、海洋教育がどこまで前面に出るかは分かりませんが、これまで以上に定着させていきたいと考えています。そのためには、これまでとは違った形で学校に海洋教育を導入してきた経緯がありますので、そのあたりを整理して、教育活動のより大きなエネルギーとなっていくような位置付けを考えていくという意味合いで、東大との連携を深めていきたいと考えています。

○松尾委員　　人材の配置ができたということは進歩だと思っています。1年間の期間ですが、これが継続していくためにも、学校それぞれが海洋教育に関わり、深く特色を出していく研究も必要になってくるのではと思います。現在、三浦市はそのあたりが弱いと思います。従前のみうら学から、なかなか発展できていない状況があると思いますので、より三浦の特色ある学びにするためには、そのような動きが必要になると思います。

○三壁教育長　　東京大学臨海実験所と学校教育課で、海洋教育の推進のために事業展開していますが、もとは、平成23年3月に、三浦市と東京大学臨海実験所で連携協定を結んでおり、事業内容の一部として海洋教育が盛り込まれ、三浦らしい教育へと結び付けようとしていました。

今は、かなり学校の海洋教育がクローズアップされていますが、市としてももっと東京大学臨海実験所と関わりを持ってほしいと思っています。現在、真珠の取組みも一生懸命行っていますが、学校だけでなく三浦の観光とも結びつくものがないか、市全体として東京大学臨海実験所の現在の姿を理解してほしいと思います。海洋教育の中身については、年数がかかっても、

少しずつ濃くなっていけばいいと思います。1年目は名向小学校だけでしたが、3年間で11校になりました。あまり急がず、しかしカラーは確実に出していかないと、過去の成果が無駄になってしまいますので、松尾委員がおっしゃったことについては、目標をきちんと立てて、学校教育という観点からより力を入れてやっていきたいと思っています。

○菊池委員長職務代理 海洋教育について情報発信するとのことですが、例えばインターネットを使うなど、一般市民でも分かるような形での情報発信の担当をされることになりますか。

○三壁教育長 対市民への発信については、市の仕事だと思っています。各学校での成果は、年度末に発表会等を行っています。保護者からも、そのような成果を市民に発信してほしいと要望があります。菊池委員長職務代理がおっしゃったように、三浦市民へのPRは、現在もかなり行っているものの、具体的な発信の仕方についてはまだまだ希薄なところがありますので、市長部局に対して働きかけを行っています。

これは、ウォーナンプールの子どもたちとの交流にも繋がっていく問題です。姉妹都市でありながら、青少年教育課が子どもたちの派遣や受け入れを20年以上行っていますが、それだけでいいのか。もっと広く展開して、ウォーナンプールに市民が行けるような、あるいは先日ウォーナンプールから24人の老夫婦の皆さんが来られ、歓迎しましたが、そのような広がりが必要だと思います。

海洋教育についても、三浦市と東京大学臨海実験所、そして市民が積極的に事業に参画できるような計画を、市として立てたらどうかと働きかけをしています。

○松尾委員 各学校で海洋教育に取り組む中で、子どもたちが東京大学臨海実験所に行き、話を聞いた等の、人数的な成果はありますか。また、東京大学臨海実験所について、インターネットで検索した件数等が分かれば教えてください。

○五十嵐学校教育課長 インターネットの検索件数については、把握しきれていません。東京大学との活動の連携ということでは、平成26年度は、各小中学校が臨海実験所と連携して遠足を行ったり、東京大学を訪れるといった活動が35回行われました。これには、教員の研修も含まれています。

○曾根委員 こういった活動は、根を張り、そこから花が咲いていくまでに時間がかかると思いますが、三浦市の教育の目玉になり、海があり、海洋教育が盛んな三浦市で子育てをしたいと思うところまで持っていけると素晴らしいと思います。地元の環境と、恵まれた実験所があるということで、子どもたちが学校にいるところから始まり、生涯学習にも繋がっていくと非常に良い試みになると思います。子どもたちが成長し大人になるに従って、学習が深まり、三浦の特色ある教育になっていくことを願っていますので、ぜひ続けていってほしいと思っています。

○三壁教育長 生涯学習の話が出ましたが、現在文化スポーツ課は東京大学臨海実験所のサポーターをしており、展示会に関わる等の活動を2年ほど行っています。

○寺本委員長　先日ウォーナンプールの面接をした時に、三浦の特色は何かを聞く機会がありましたが、海やまぐろを挙げた子が多かったです。しかし、具体的にどういう特色か聞くと、答えられない子が多かったので、三浦の特色としての海やまぐろ等について、具体的に理解できるように、学校で取り上げていってもらいたいと思います。

○寺本委員長　他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長　次に、(3)青少年会館の耐震診断結果について、報告をお願いします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長　昨年度、補正予算により実施した青少年会館の耐震診断の結果について報告します。

今回の青少年会館の耐震診断では、国が一般的な建築物が震度6強から7程度の地震に対し安全であるとされている基準を基本に、官庁施設で不特定多数が使用する建物に求められる基準や、青少年会館建物が崖地付近にあることを考慮した基準を設定し診断を行いました。

耐震診断の方法は、構造的に個別の建物である会館部分とホール部分を区分してそれぞれの耐震性能を現地調査と構造計算によって行いました。

耐震診断の結果、会館部分は1階、2階、3階とも設定した基準を下回る結果になり、ホール部分は、1階、2階の壁面と柱は基準を上回りましたが、鉄骨構造の屋根部分は基準を下回るという結果になりました。

この結果を受けて、施設を補強し継続使用していくか、又は他の施設へ館内の機能を移転するか等の方針については、現在、市長部局を含めた協議・調整を進めており、今後、その状況は定例教育委員会で随時、報告させていただきます。

報告は以上です。

○寺本委員長　報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

○寺本委員長　具体的にいつごろまでに結論を出すスケジュールですか。

○三壁教育長　これは難しい課題です。命に関わることなので、即刻対応すべきですが、現在この結果をもって、青少年会館の耐震工事を行うか、教育委員会の機能を旧三崎中学校に移すのかを市長部局と調整しているところです。耐震工事に数億円かかることは分かっていますが、旧三崎中学校に移転した時に、どのくらい費用がかかるのかは現在算出してもらっているところです。費用面では旧三崎中学校への移転となると思いますが、そのスケジュールについては決まっていません。

もう一点、教育委員会で心配しているのは、青少年会館のホールや3階を利用している団体についてです。3階を利用している団体ならば、旧三崎中学校の普通教室の一部を使うことも

できると思いますが、教室棟ですとセキュリティや空調、身体障害をお持ちの方に対応した施設づくりをどこまで行えばよいかという問題がありますので、答えが出ていない状況です。

福祉会館の移転の際には、3月に話が出て10月には移転が完了しましたが、福祉会館は利用者がいなかったため早く完了した経緯があります。今回の件は、ハード面、ソフト面ともに相当な準備が必要と考えています。

○田中教育総務課長 一番の問題点は、青少年会館の機能としての会議室等の貸し出しを継続するかどうかです。ホールや3階の利用者に、旧三崎中学校で活動していただくことになると、施設の整備が必要になります。2,000㎡を超えて使用する場合、バリアフリー法や建築基準法により措置しなければならないことが多く出てきます。現在の旧三崎中学校は1,600㎡使用していますので、あと400㎡の中で教育委員会が移転できれば措置は必要ありませんが、青少年会館の機能を含めると2,000㎡は超えますので、エレベーターやバリアフリー対応のトイレの設置等の規制がかかります。

それらの整備の費用を市長部局と協力して早く算出したいと思いますが、職員だけ動く場合でも、9月議会で補正の承認をいただき、工事を行うと12月～1月になりますので、移転は年度末になるというのが一番早いスケジュールだと思います。青少年会館の機能を移転させる場合には、それなりの費用がかかりますし、工事件数も増えますので、年度内に動くのは難しいと思います。

○三壁教育長 この件については、6月議会にて質問が出てくるとと思います。説明をしっかりとするためには、耐震工事だけでなく、旧三崎中学校への移転費用を早く算出し、道筋を立てなくてはならないと思っています。説明会等を開催し、理解していただくにも時間がかかります。急いで話を進めるため、市長部局にも打合せを密に行うよう要請しています。

○菊池委員長職務代理 青少年会館の1年間の利用人数と利用団体数、そのうちの夜間利用の割合について、教えてください。

○安藤青少年教育課長 利用人数は、図書館の利用を含め約33,000人です。利用団体は、登録している団体が80団体程あります。夜間利用の割合については、把握していません。

○菊池委員長職務代理 夜間の利用は多いですか。

○安藤青少年教育課長 社会人の方の利用が多いです。

○曾根委員 代替で使う場所として、旧三崎中学校以外の案はありますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 金額の多寡はありますが、ホールの場合はうらりにある市民ホールや、市場7階の大会議室等、同規模の会議室があります。3階にある会合室の場合は勤労市民センター等に同規模の部屋がありますので、条件が合えば使用可能だと思います。

○菊池委員長職務代理 青少年会館は昭和47年に完成して約44年が経過しており、年々耐久年数が落ちてきますので、建替えが妥当だと思いますが、三崎地区にはそういった施設が必要だと思いますので、何らかの方法で会館機能の維持を考えていかななくてはならないと思います。青少年会館を出る場合には、初声地区、南下浦地区、うらり等の選択肢もありますが、この立地の良さもありますので、青少年会館や、旧三崎中学校かという選択肢の中で、施設を何とか維持してもらいたいと思っています。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長 次に、(4)元三浦市立宮川児童会館を無償譲渡することについて、報告をお願いします

○安藤青少年教育課長兼図書館長 元三浦市立宮川児童会館を無償譲渡することについて報告します。

平成27年第2回市議会定例会に「財産（元宮川児童会館）の無償譲渡について」議案を上程することになりましたので、報告します。

議案の目的は平成26年3月31日をもって廃止した元宮川児童会館を、自治活動に使用するものとして地元自治会である宮川区へ無償譲渡するため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

廃止から1年間を経て議案上程に至ったのは、譲渡に際して宮川区から求められた施設の改修工事が平成26年度末に完了し、今般、施設を譲渡する条件が整ったことによるものです。

議案の要旨としては、平成27年7月1日付けで、元宮川児童会館を宮川区に無償譲渡するものです。

報告は以上です。

○寺本委員長 報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

(発言等なし)

○寺本委員長 次に、(5)子どもの船事業及び姉妹都市交流事業の参加者募集について、報告をお願いします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 子どもの船事業及び姉妹都市交流事業の参加者募集について報告します。

子どもの船事業は、県立海洋科学高校の実習船「湘南丸」に乗船し、船内見学と相模湾航海、海洋調査実習を体験するプログラムです。

今年度は7月23日（木）に、出港式を経て10：30乗船、14：00下船の予定で実施します。出港前に船内でマグロの解体を行い、参加者の昼食時に刺身を提供します。

このイベントに市内の小学5年生から中学3年生を対象に参加者35名を募集します。

次に姉妹都市交流事業ですが、これは三浦市の姉妹都市、長野県須坂市との交流事業で、今年度は7月29日から31日に須坂市青少年が三浦市を訪れ、8月7日から9日に三浦市青少年が須坂市を訪問することになりました。

三浦市受入ではナイトウォークやシーカヤック体験を、須坂市訪問ではキャンプファイアーやハイキングを予定しています。

受入・訪問とも市内の小学5年生から中学3年生を対象にそれぞれ参加者20名を募集します。また、7月30日の須坂市青少年のホームステイ受入家庭の募集も行います。

以上の参加者等の募集を6月1日配布の市広報誌「三浦市民」に掲載いたしますのでご承知おきください。

報告は以上です。

○寺本委員長 報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

○曾根委員 募集や受け入れで、毎年苦勞している点はありますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 三浦市、須坂市ともに、民泊の受入家庭の確保は苦勞している状況です。内容を維持しつつ、スムーズに進めやすい方法をお互いに相談しながら、続けていきたいと思っています。

また、こどもの船については、定員35名に対し50名以上の応募があり、毎年抽選になっています。多い人数にも対応できる方法を考えていきたいと思います。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長 続きまして次第6「審議事項」に入りたいと思います。

議案第16号 平成27年度三浦市一般会計補正予算(第1号)に関する申出についてを議題といたします。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○田中教育総務課長 議案第16号 平成27年度三浦市一般会計補正予算(第1号)に関する申出についてご説明します。

平成27年度三浦市一般会計補正予算(第1号)につき、次のとおり申出をすることについて承認を求めるものです。

第1表、歳入歳出予算補正につきまして、歳出で、教育費の補正前の予算額、10億3413万8千円に、387万1千円を増額し、補正後の予算額を、10億3800万9千円にするものです。

内訳は、教育総務費の教育指導費で110万円、中学校費の学校管理費で249万7千円、保健体育費の体育施設費で27万4千円を増額補正するものです。

詳しい事業内容につきましては、各担当課長から説明をさせていただきます。

○五十嵐学校教育課長 教育総務費のうち教育指導費について説明いたします。

まず、教育研究所事業についてですが、神奈川県教育委員会が実施する平成 27 年度神奈川県人権教育推進事業のうち、人権教育総合推進地域事業の委託を三浦市教育委員会として受けるものです。三浦市の全小中学校を対象に地域、保護者を巻き込んだ人権教育の推進を行う予定となっています。予算の用途の大きな部分では、人権教育に係る講師を各学校年間 2 ～ 3 回招聘する計画です。各学校で課題として感じていること、また教育委員会で設定した市内共通の人権課題について、効果的に学習できる環境をつくってまいります。講師については、学校が独自に招聘したい講師のほかに、教育委員会が選定した複数の講師から学校が選択できる形を基本に考えています。

次に、海洋教育等地域教材開発事業についてですが、これは、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターが主催する平成 27 年度「海洋教育カリキュラム開発プロジェクト」に応募した三浦市教育委員会のカリキュラム案が審査を通過し、10 万円の奨励金を受け取るものです。三浦市教育委員会では、この奨励金を使い海洋教育のリーフレットを作成し、児童生徒とその保護者、地域の方々、また市外の関係者への市としての取り組みの周知、アピールに使用していきます。これまで三浦市が行ってきた海洋教育の取り組みをより多くの方々に理解していただき、さらに広がりのあるものに繋げていきたいと思っています。

以上で説明を終わります。

○田中教育総務課長 中学校費のうち学校管理費の中学校義務教育施設維持管理事業について説明いたします。

本件は、初声中学校の浄化槽放流ポンプ 2 台の内の 1 台が故障したため、取替えをおこなうもので、23 万 3 千円を増額補正をするものです。

次に、中学校施設整備事業は、三崎中学校のコンピュータ教室の空調機が故障したため、改修するもので、150 万円の増額補正をするものです。

また、現在建設中の三崎中学校屋内運動場の備品として、暗幕及び器具庫用の棚を購入するもので、76 万 4 千円の増額補正をするものです。

以上で説明を終わります。

○下田文化スポーツ課長 保健体育費の体育施設費の内、スポーツ施設運営管理事業について説明いたします。

三浦市総合体育館に設置されている券売機 2 台が不調となり、紙幣対応の 1 台は 3 月に故障したため、2 台を廃棄し、新たに紙幣対応機 1 台を新規に 5 年リースするもので、27 万 4 千円の増額補正をするものです。

以上で説明を終わります。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

○菊池委員長職務代理 教育研究所事業のことですが、人権教育については単年度事業ですか。また、外部の講師というのはこれに連動するものですか。

○五十嵐学校教育課長 本事業は単年度事業です。場合によっては2年続けての委託も視野に入れているということは、神奈川県教育委員会との打合せの中で確認しています。

外部委託講師については、各小中学校での講演活動と同じものと考えていただいて結構です。ただし、現在詳細を調整しているところであり、講師を開拓中です。各校で教育委員会が探してきた講師を選択できる形式を考えています。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長 なければお諮りいたします。

議案第16号 平成27年度三浦市一般会計補正予算(第1号)に関する申出について、原案のとおりとすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○寺本委員長 ありがとうございます。ご異議ないようですので、そのように決しました。

○寺本委員長 続きまして議案第17号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについてを議題といたします。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 議案第17号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて説明いたします。

資料8をご覧ください。

本件は三浦市教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、別紙のとおり臨時に事務を代理したので、同条第2項の規定によりその内容を報告し、承認を求めものです。

内容は、上宮田7区選出の今井静子氏を平成27年5月4日付けで解嘱し、その後任として遠藤亮介氏に同年5月27日付けで青少年指導員を委嘱したものです。

任期は平成27年5月27日から平成28年3月31日までとし、その期間、青少年の自主的な育成活動の推進により、地域ぐるみの青少年健全育成を図るための各種取り組みの担い手として尽力いただきます。

説明は以上です。ご審議の程、宜しくをお願いします。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

(発言等なし)

○寺本委員長 なければお諮りいたします。

議案第17号 議案第17号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて、原案のとおりとすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○寺本委員長 ありがとうございます。ご異議ないようですので、そのように決しました。

○寺本委員長 それでは、次第7「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)第18回わんぱく相撲三浦場所の開催結果について、説明をお願いします。

○下田文化スポーツ課長 第18回わんぱく相撲三浦場所の開催結果についてご説明します。

わんぱく相撲三浦場所は、5月10日の日曜日に若宮相撲場にて開催しました。土俵の上で、力いっぱい相撲をとる小学生力士により、大いに盛り上がった大会になりました。

参加数としては、団体戦36チーム、個人戦166人の参加でした。

なお、個人戦4年生、5年生、6年生の優勝者については、8月2日に両国国技館で行なわれる。第31回わんぱく相撲全国大会に出場します。全国大会に参加をする3名については、6月、7月の毎週土曜日に若宮相撲場で、相撲連盟による稽古を積んで全国大会に挑みます。

資料につきましては、各学校からの参加状況及び入賞者の一覧になります。

説明は、以上です。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

(発言等なし)

○寺本委員長 引続きまして、(2)平成26年度三浦市社会教育講座について(南下浦市民センター)、説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 平成26年度三浦市社会教育講座の開催結果について報告いたします。

社会教育講座として、南下浦市民センターでは大きく分けて5つの講座を実施しました。資料4は、第4回定例教育委員会においてご提案をいただき作成したものです。

特記事項には記載していませんが、「趣味の農業」については、定年後の趣味活動になっている、仲間づくりになっているという声をいただいています。

「サタデーボックス」については、絵画技術の向上が図られているという話を講師からいただきました。また、囲碁教室では、名向小学校4年生の、通い始めて1年未満の児童が鎌倉市長杯に参加して優勝しています。テレビゲームばかりで、囲碁や将棋に接する場が少ない中で、年配者とも交流することができ、良い機会が持てているという意見をいただいています。

以上で説明を終わります。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池委員長職務代理 表にさせていただき、分かりやすいと思います。これを次の事業にどう生かしていくかお考えですか。

○小川南下浦市民センター館長 今回資料を作成しながら、事業の見直しの機会にもなりました。よりよい事業のために、調整していきたいと思います。

○松尾委員 資料6も拝見しましたが、両センターとも同じスタンスで資料を作っており、ここから事業の課題や、今後のアイデアも見えると思います。菊池委員長職務代理もお話されたとおり、これをどう繋げていくかが大きな課題になると思いますので、良い事業を推進して行っていただきたいと思います。

また、事業参加者が囲碁の大会で優勝するなど、三浦市の素質を持っている方の発掘にも繋がっていると思います。素晴らしいことですので、今後も継続してください。

○曾根委員 参加者は年配の方が多いのではと思うのですが、最近では若い方の中で刀剣が流行っていて、美術館でも見やすいということで若い女性にも人気があると聞きました。自分の子どもも含め、若い方が好むオンラインゲームでも刀剣が主体だということで、実際に見てみたいということがあるようです。こういった講座も、インターネット等から情報を得て、様々な世代の方から足を運んでもらえるようにすると良いのではないかと思います。

○寺本委員長 歴史講座の受講者は年配の方が多いですか。

○小川南下浦市民センター館長 年配の方が多いです。

○寺本委員長 若い方が来られるような方策を考えていく必要はあると思います。受講希望者も多い中で大変かと思いますが、よろしくお願いします。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長 次に、(3)平成27年度三浦市社会教育講座「文学講座—文学に表現された三浦—」の開催について、説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 平成27年度三浦市社会教育講座「文学講座—文学に表現された三浦—」の開催について説明いたします。

市制施行60周年記念事業の一環である文学講座を「文学に表現された三浦」と題し6月18日(木)と6月25日(木)の2日間、午後7時から午後9時、田中健介氏(みうら観光ボランティア協会会長)を講師として招き、開催します。

内容は、1日目は「小説や短歌に表現された三浦」、2日目は「詩人北原白秋の目でみた三浦」です。

受付開始は6月2日（火）からで、定員にあっては30人としてありますが、受講希望者が多くなった場合は講師と調整する予定です。

以上で説明を終わります。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

（発言等なし）

○寺本委員長 引続きまして、(4)平成26年度三浦市社会教育講座について(初声市民センター)、説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 平成26年度三浦市社会教育講座の開催結果について報告いたします。

児童期家庭教育学級は、親子を対象とし自然観察や施設見学などを行うもので、夏休み期間を中心に5講座を開催いたしました。

名向小学校でのホタルの観察会は、夜の開催のため仕事を終えた家族も参加でき、参加者が多かったのですが、ホタルの数が少なくて残念でした。学校給食調理場の見学会は学校でも企画をしている為、募集定員に達しませんでした。

社会教育講座は、少年少女や成人男女を対象としたもので、年間を通じ13講座を開催しました。子どもを対象とした、やきもの教室、パン教室、ロールケーキの教室はとても人気があり、皆楽しそうに作っていました。

大人には、三浦特産の大根やキャベツ、鮪を使った料理の講座が人気で、男性の参加者もいました。また、古布を使ったバック作りでもエコに対する意識が高いことを感じました。文学講座では体調を崩して参加できなかった方もありましたが、どの講座もほぼ定員に達し、参加者にとって有意義なものになりました。今後も内容的に魅力ある講座を開催していきたいと考えています。

以上で説明を終わります。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池委員長職務代理 ほとんどの講座で受講者数が100%を超えていますが、定員の少ない講座については、断っている方もいるのですか。

○見上初声市民センター館長 その通りです。ほとんどの講座は、あらかじめ周知をしたうえで先着順としていますので、定員に達した時点でお断りをしています。定員到達後も申込希望者がかなりの人数いる状況です。

ただし、開催場所が調理場の場合、会場のキャパシティの問題もありますし、エコバック作りの場合には講師が用意するミシンの台数等にも限りがありますので、講師と相談の上、このような定員としています。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長 次に、(5)平成27年度三浦市社会教育講座「工芸講座—オリジナル斜めがけエコバッグ作り—」の開催について、説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 平成27年度三浦市社会教育講座「工芸講座—オリジナル斜めがけエコバッグ作り—」の開催について説明いたします。

和柄の布を使い、肩から斜めに掛けられるオリジナルのバッグを作ります。物を大切にすることや美的感覚を学ぶことを目的としています。

サイズは、肩に掛けるループの部分も含めて縦90cm、横40cmで、袋の部分がかなり大きくなっています。

開催日は6月26日金曜日の午後1時から4時までで、講師は、深谷範枝さんです。

参加定員は10人、受講料は800円、申込開始は6月8日からです。

今回初めて開く講座で、広報紙の「三浦市民」、三浦市のホームページ、タウンニュース等で周知をいたします。

以上で説明を終わります。

○寺本委員長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池委員長職務代理 人気のある講座ですので、多くの方に受講してもらいたいと考えています。例えばミシンを持ってくれば、もう少し定員を増やすこともできるのでしょうか。

○見上初声市民センター館長 自宅からミシンを持参できれば、会場や講師との調整はありますけれども、定員を増やすことは可能だと思います。また、講師はサークル「むつみ会」の会員でもありますので、当日は講師の他に、参加者の指導のため、むつみ会のメンバー数名もサポートに来られます。参加者が多くなれば、サポートを増やしていただくようお願いする必要がありますが、次回以降は定員について調整できる可能性があると思います。

○菊池委員長職務代理 せっかくの機会ですので、できるだけ多くの方が受講できるよう、調整をお願いしたいと思います。

○松尾委員 南下浦市民センター、初声市民センターともに、受講者のうち三崎地区の方はどのくらいいますか。各センターとも、周辺地区の方が中心となって受講している場合、三崎地区の方は青少年会館や勤労市民センター等にいられているのか、気になりました。

○小川南下浦市民センター館長 特定の地区に偏らず、市内全域から応募をいただいています。特定の地区が多い時もありますが、年間で平均すると、三浦市全域から受講していただいていると思います。

○見上初声市民センター館長 初声についても、講座による偏りはありますが、全体的な地区の偏りはないと思います。

○曾根委員 周知方法は三浦市民やホームページ、タウンニュースとありましたが、どれを見て応募される方が多いですか。

○小川南下浦市民センター館長 タウンニュースを見て、という声はよく聞きます。しかし、タウンニュースへ掲載されるかどうかは、タウンニュース社の判断によりますので、できるだけ掲載していただくようお願いしています。年代別で見ると、高齢の方は三浦市民を見ている方が多いと聞いています。

○菊池委員長職務代理 講座のリピーターや、様々な講座を受講している常連の方はいらっしゃいますか。

○見上初声市民センター館長 数字は分かりませんが、初声市民センターの場合、料理が好きな方は料理講座に何度も参加されています。また、布を使った講座ですと、家にミシンがあるのでどれも参加してみたい、という方が多いと思います。

○菊池委員長職務代理 新しい受講者から、希望者がいっぱい受講できなかったというような意見はありますか。原則先着順ですか。

○見上初声市民センター館長 募集開始時期は事前周知していますので、だいたいの講座において、リピーターであっても、新規受講者であっても先着順でお受けしています。よって、申込時の条件は同じであると思います。

○三壁教育長 各館長は、6月1日に社会教育委員会議があり、その後に開催される実行委員会にて、今日の内容が反映されるようにしてください。

○大西教育部長 青少年事業や、社会教育講座等についての本日のご意見を、来週の実行委員会では反映できるようにしていきたいと思います。

○寺本委員長 他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長　それでは、次第8「その他」に入りたいと思います。

○三壁教育長　一点報告があります。昨日、三浦市体育協会の役員の改選がありました。これまで鈴木恒雄さんが会長を8年間務められましたが、新会長には相撲連盟の四宮さんが選任され、副会長以下も改選となった部分があります。委員の皆様も、今後大会等への出席があると思いますので、お伝えさせていただきます。

○寺本委員長　他にございませんか。

(発言等なし)

○寺本委員長　ないようですので、その他を終了します。

○寺本委員長　これもちまして、平成27年第5回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。

◇ 午後4時45分 閉会 ◇
